

0.001秒に、 人生を賭ける。

レーシングドライバー 野尻智紀 Nojiri Tomoki



「幼い頃は体が弱く、どんなスポーツも長くは続きませんでした」。

そう語る筑西市出身の野尻選手を変えたのは、父に連れられて行ったカート場でのレーシングカーとの出会いでした。

クルマのエンジンの振動に胸が高鳴り、「これだ!」と直感したと言います。

夢中で走り続け、国内のトップカテゴリーへ。その後も、ハンドルを握る手をゆるめることなく、挑戦を重ねてきました。カーレースは、0.001秒を争う世界。わずかな迷いが勝敗を分けるからこそ、つねに自らを磨き、チームのメンバーと向き合い続けてきました。

スーパーフォーミュラ連覇の後、「一人じゃない、みんなの力です」と語った笑顔が印象的でした。

筑西市の大きな空と筑波山の稜線が、いまでも原点を思い出させてくれる。

夢は、走り続ける人の味方です。

■ 野尻選手のおすそわけは、

モータースポーツを通して子どもたちが夢に
挑戦するきっかけを与えることです。

連絡先は、Instagram: @tomoki_nojiri

YouTube



Instagram

